

平成19年9月25日

阪神電気鉄道株式会社
神戸高速鉄道株式会社

阪神電鉄 三宮駅の改良工事に10月4日着手 ～東改札口を新設するなど交通結節機能の高度化を図ります～

阪神電気鉄道株式会社（本社：大阪市福島区、社長：坂井信也）と神戸高速鉄道株式会社（本社：神戸市中央区、社長：村戸靖男）では、10月4日から、阪神電鉄本線 三宮駅（神戸市中央区小野柄通8丁目1番8号）の改良工事に着手します。

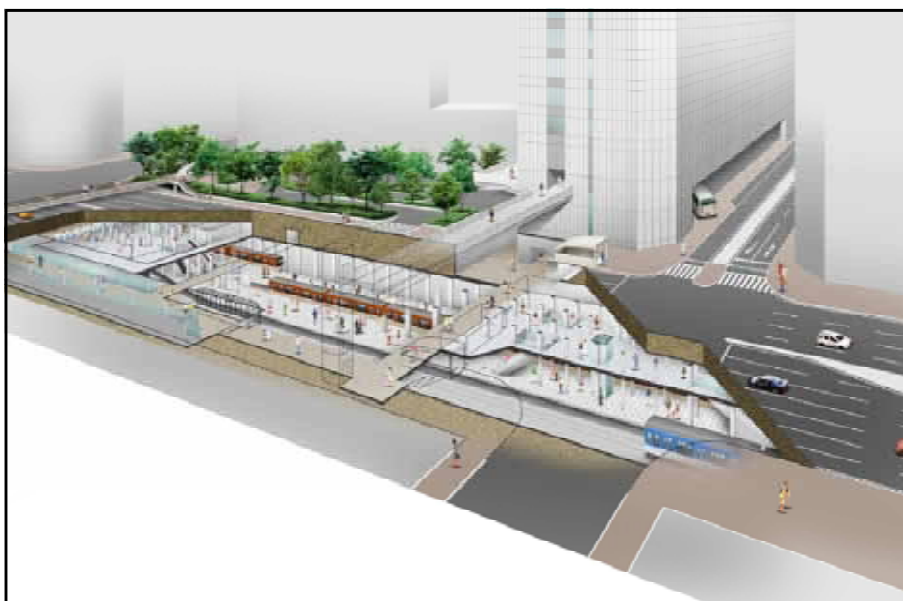
同駅は、昭和8年に地下駅化されましたが、改札口が西側1か所のため、ラッシュ時には混雑するほか、バリアフリー化や駅での乗継円滑化などの課題を抱えています。

一方、平成21年春には、阪神なんば線を経由して、阪神電気鉄道と近畿日本鉄道が相互直通運転（阪神三宮駅・近鉄奈良駅間）を開始する予定であることから、駅施設の利用円滑化と交通結節機能の高度化を図るため、大規模な改良工事を行うこととなりました。

この改良工事では、東改札口を新設するほか、既存の西改札口の改築、構内配線の変更、エレベーターの新設などを行います。

また、駅の改良工事に合わせて、東改札口に接続し、神戸新聞会館「ミント神戸」から地下街「さんちか」に連絡する神戸市の地下通路も整備されます。

なお、この改良工事は、都市鉄道等利便増進法の規定による国土交通大臣の認定を受けた交通結節機能高度化計画に基づき駅施設利用円滑化事業として、同省の「都市鉄道利便増進事業費補助」の適用を受け、神戸高速鉄道が鉄道整備主体となり実施するもので、工事は神戸高速鉄道から委託を受け、阪神電気鉄道が施行します。



阪神三宮駅 改良工事（完成予想図）

1 駅改良工事の概要

(1) 東改札口の新設

神戸市が整備する地下通路に接続するよう、改札口とコンコースを新設します。

(2) 西改札口の改築

既存の西改札口をセットバックし、改札前の通路を拡幅することにより、乗り継ぎ
・回遊動線の強化を図ります。

(3) 駅排煙設備の新設

(4) 駅構内配線の変更

現在の2番線（本線下り線：梅田方面）を折り返し線に、3番線（折り返し線）を本線下り線に変更し、乗り継ぎの円滑化を図ります。

配線変更に合わせて、降車ホームを廃止し、上下線ホームを拡幅します。

(5) エレベーターの新設

各ホームに東西コンコース階へのエレベーターを新設します。

2 総事業費

約130億円

総事業費のうち、1/3を国が、兵庫県及び神戸市がそれぞれ1/6を補助します。

3 工期

平成19年10月～平成24年度末

以 上

【ご参考】都市鉄道利便増進事業の概要

1 事業概要

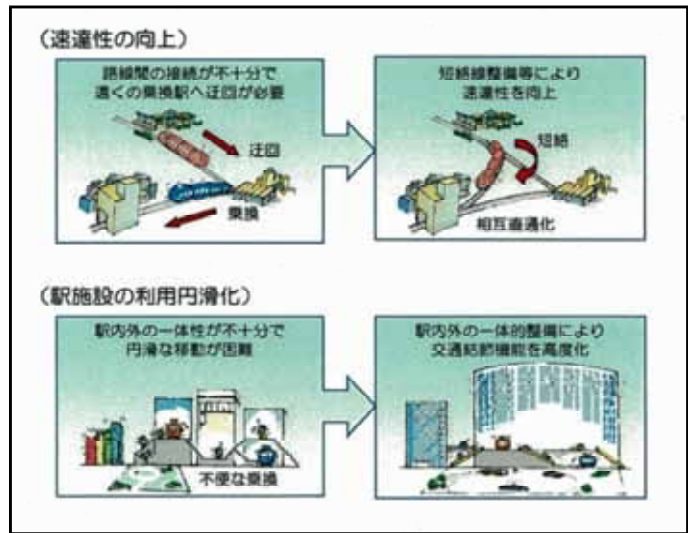
既存の都市鉄道施設を有効活用して、速達性の向上及び駅施設の利用円滑化を図ることにより利用者の利便を増進し、もって活力ある都市活動及びゆとりある都市生活の実現に寄与することを目的として、都市鉄道等利便増進法による国土交通大臣の認定を受けた計画に基づく以下の事業について、国及び地方公共団体が助成措置を行うものです。

速達性向上事業

- ・既存の都市鉄道施設の間を連絡する新線の建設
- ・複数の路線の間を連絡するために必要となる都市鉄道施設の整備
- ・列車が追越しを行うために必要となる都市鉄道施設の整備

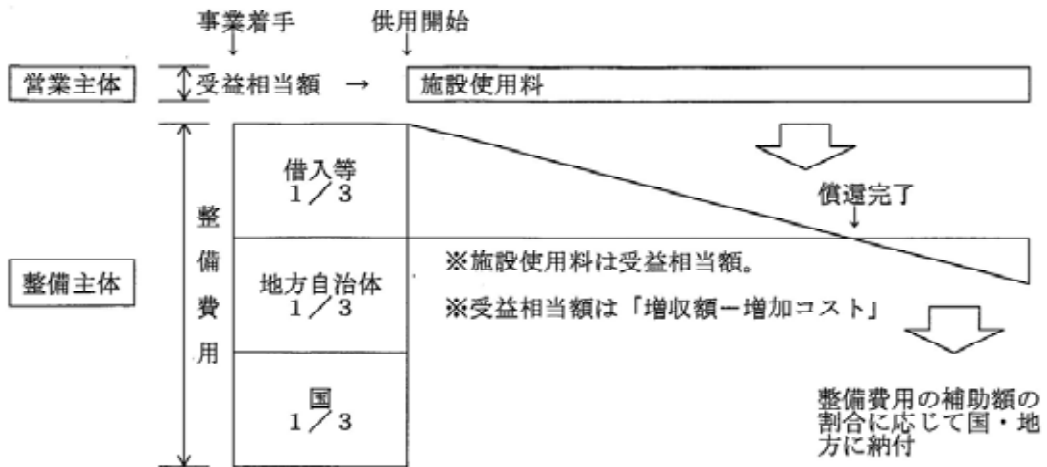
駅施設利用円滑化事業

- ・既存の駅施設における乗降又は乗継を円滑に行うためのプラットホーム、改札口又は通路の整備
- ・上記の整備と一体的に行う自動車駐車場又は自転車駐車場の整備
- ・鉄道線路の配置の変更その他上記整備に合わせて行われる鉄道施設の変更



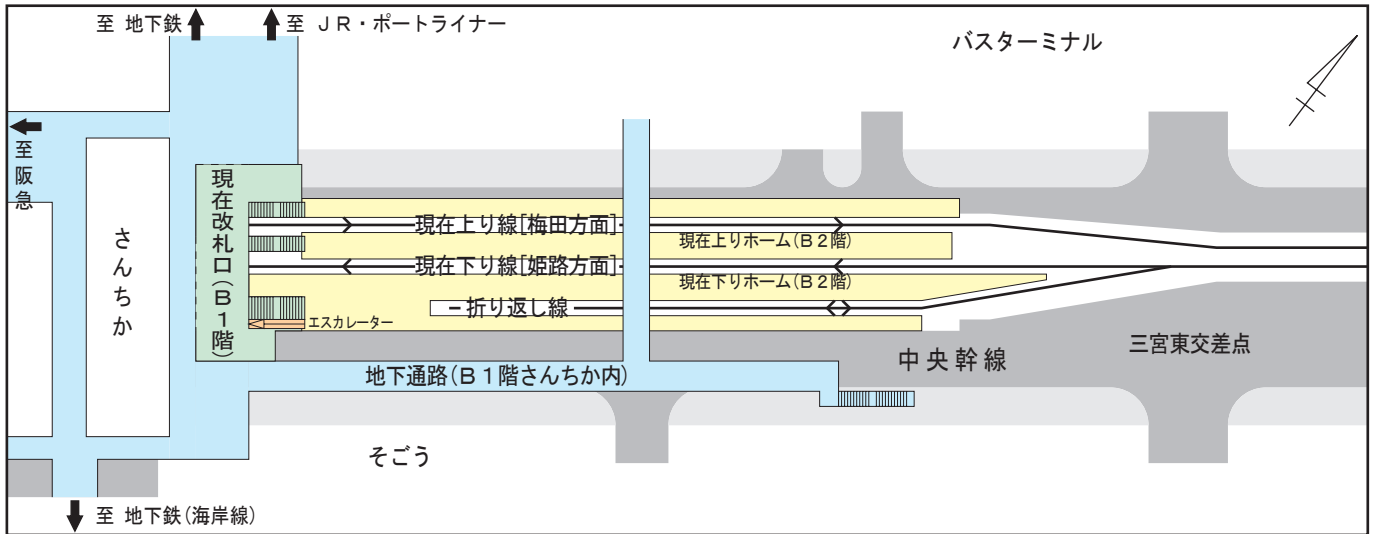
都市鉄道利便増進事業（イメージ図）

2. 事業のスキーム

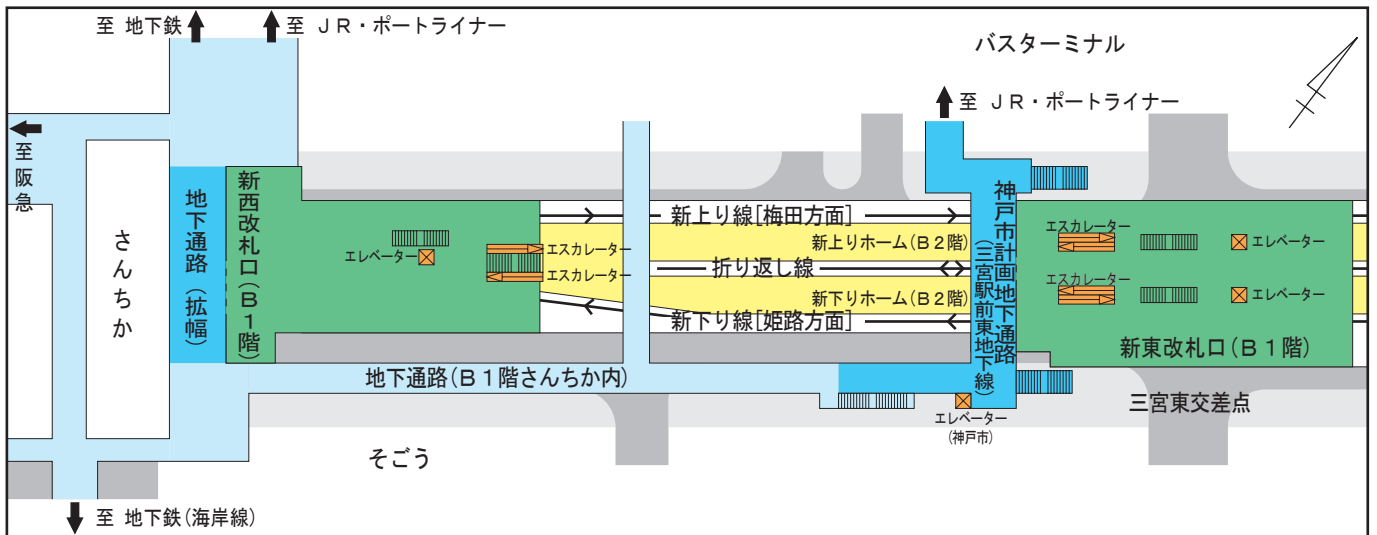


阪神三宮駅改良工事

現在



完成後



現在

完成後

北 中央幹線 南

北 中央幹線 南

